

# 地場企業の経営動向調査

(平成30年度第1四半期)

平成30年7月25日

 福岡商工会議所

総合企画部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし2,000社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業1,905社（構成比率95.3%）、大企業95社（構成比率4.8%）により構成されている。

回答した企業数は616社、回答率30.8%となっており、回答企業の内訳は、中小企業583社（構成比率94.6%）、大企業33社（5.4%）となっている。

## 調査要領

四半期毎にアンケートを実施し、今回ファクスを利用した。

内容は前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成30年4～6月期の実績、及び平成30年7～9月期の予想について、平成30年6月時点での調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI … Diffusion Index (景気動向指数) の略

### « 景気・経営動向調査 »

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 資金繰り
8. 当面の経営上の問題点

## 調査対象企業数及び回収結果

規 模 別	対象数	回答数	回答率	回答結果構成比
全 業 種	2,000	616	30.8%	
中 小 企 業	1,905	583	30.6%	94.6%
大 企 業	95	33	34.7%	5.4%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果構成比
全 業 種	2,000	616	30.8%	
建 設 業	344	112	32.6%	18.2%
土 木 建 設 業	140	45	32.1%	7.3%
建 設 付 帯 工 事 業	81	25	30.9%	4.1%
電 気 ・ 管 工 事 業	123	42	34.1%	6.8%
製 造 業	239	81	33.9%	13.1%
食 料 品 製 造 業	75	18	24.0%	2.9%
纖 維 製 品 製 造 業	11	4	36.4%	0.6%
建 材 ・ 木 ・ 紙 製 品 製 造 業	10	1	10.0%	0.2%
印 刷 ・ 製 本 業	45	16	35.6%	2.6%
窯 業 ・ 土 木 製 品 製 造 業	9	4	44.4%	0.6%
金 属 製 品 製 造 業	21	10	47.6%	1.6%
一 般 機 械 器 具 製 造 業	22	13	59.1%	2.1%
電 气 機 械 器 具 製 造 業	21	7	33.3%	1.1%
そ の 他 製 造 業	25	8	32.0%	1.3%
卸 売 業	305	105	34.4%	17.0%
食 料 品 卸 売 業	81	21	25.9%	3.4%
纖 維 製 品 卸 売 業	26	10	38.5%	1.6%
建 材 ・ 住 宅 機 器 卸 売 業	41	23	56.1%	3.7%
金 属 ・ 鋼 材 卸 売 業	5	2	40.0%	0.3%
一 般 機 械 器 具 卸 売 業	54	11	20.4%	1.8%
電 气 機 械 製 品 卸 売 業	8	3	37.5%	0.5%
石 油 ・ 化 学 製 品 卸 売 業	11	5	45.5%	4.5%
そ の 他 卸 売 業	79	30	38.0%	4.9%
小 売 業	224	73	32.6%	11.9%
食 料 品 小 売 業	57	20	35.1%	3.2%
衣 料 品 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	32	6	18.8%	1.0%
石 油 ・ 化 学 製 品 小 売 業	11	3	27.3%	0.5%
車 両 運 搬 具 小 売 業	15	6	40.0%	1.0%
家 電 ・ 厨 房 器 具 小 売 業	22	7	31.8%	1.1%
量 販 店	3	2	66.7%	0.3%
そ の 他 小 売 業	84	29	34.5%	4.7%
運 輸 ・ 倉 庫 業	115	43	37.4%	7.0%
旅 客 運 送 業	38	10	26.3%	1.6%
貨 物 運 送 ・ 倉 庫 業	77	33	42.9%	5.4%
サ ー ビ ス 業	773	202	26.1%	32.8%
情 報 处 理 サ ー ビ ス 業	111	34	30.6%	5.5%
そ の 他 事 務 所 サ ー ビ ス 業	365	96	26.3%	15.6%
ホ テ ル ・ 旅 館 ・ 飲 食 業	104	26	25.0%	4.2%
そ の 他 の 個 人 サ ー ビ ス 業	193	46	23.8%	7.5%

## 1. 自社・業界の景況

《景気は緩やかな回復基調が続く》

今四半期（H30年4～6月）の地場企業の景況状況としては、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は25.3%（前期比+1.7ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は27.5%（前期比▲0.3ポイント）、「横ばい」であると回答した企業割合は42.0%（前期比▲1.5ポイント）となった。景況判断指数DI値は▲2.2（前期DI値▲4.2）となり、前期比で+2.0ポイントと改善した。

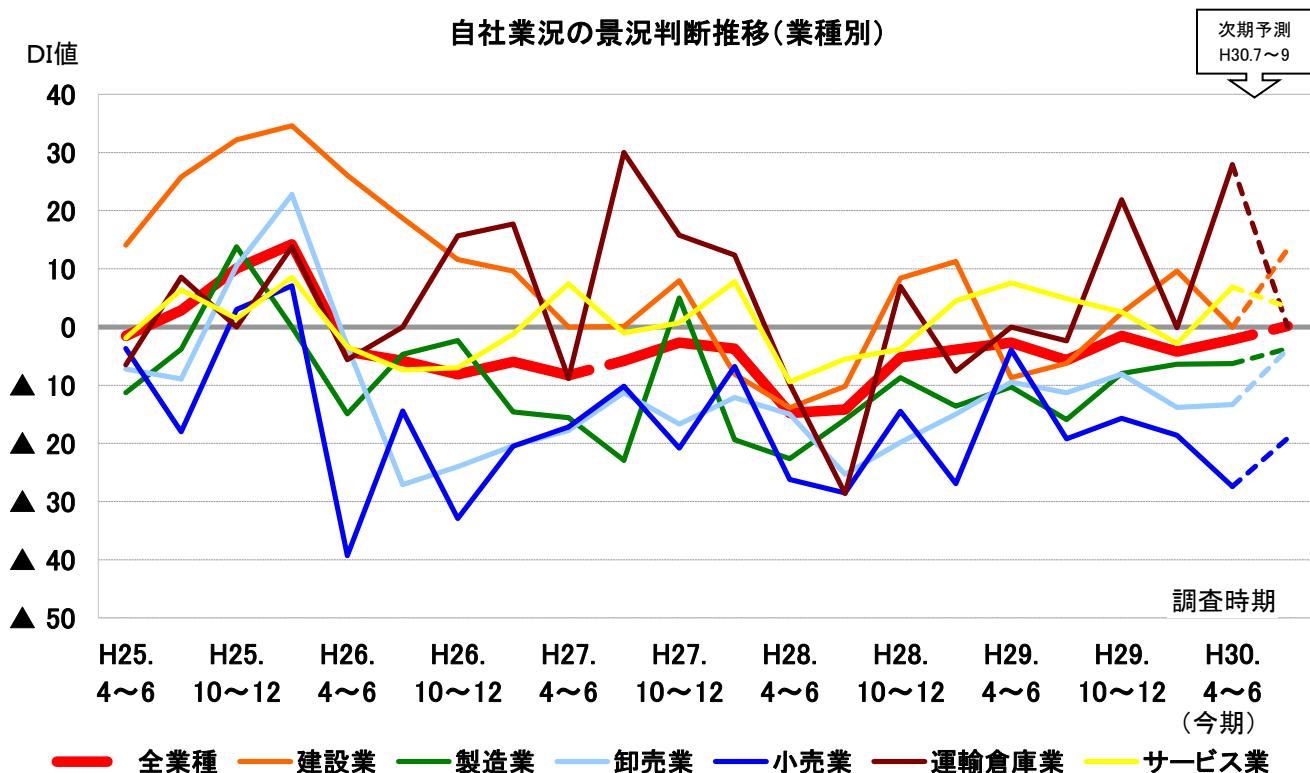
業種別にみると、運輸・倉庫業（前期▲0.1→今期+27.9）、サービス業（▲2.8→+6.9）、卸売業（▲13.8→▲13.3）、製造業（▲6.4→▲6.3）で改善となったが、建設業（+9.6→±0.0）、小売業（▲18.6→▲27.4）では悪化となった。

規模別にみると、中小企業・大企業とも改善し、特に大企業は+3.0（前期比+19.6ポイント）と大幅な改善となった。（中小企業DI値▲2.4（前期比+1.2ポイント））

次期四半期（平成30年7月～9月）予測については、+0.2となっており、今期比+2.4ポイントで、改善の見通しとなる。

《自社業況の総合判断(前年同期と比較して)》 (単位 %)

	今四半期(30年4～6月期)実績							次四半期(30年7～9月期)予測						
	非常に 良くな った	やや 良くな った	横ばい	やや 悪くな った	非常に 悪くな った	未記入	DI値	非常に 良くな る	やや 良くな る	横ばい	やや 悪くな る	非常に 悪くな る	未記入	DI値
全業種	1.8	23.5	42.0	22.6	4.9	5.2	▲ 2.2	1.6	19.2	41.6	17.7	2.9	17.0	0.2
建設業	0.9	22.3	48.2	20.5	2.7	5.4	0.0	2.7	24.1	40.2	13.4	0.0	19.6	13.4
製造業	4.9	22.2	37.0	27.2	6.2	2.5	▲ 6.3	3.7	21.0	30.9	23.5	4.9	16.0	▲ 3.7
卸売業	1.9	20.0	37.1	25.7	9.5	5.7	▲ 13.3	1.0	21.9	33.3	23.8	2.9	17.1	▲ 3.8
小売業	0.0	16.4	35.6	37.0	6.8	4.1	▲ 27.4	1.4	9.6	45.2	23.3	6.8	13.7	▲ 19.1
運輸・倉庫業	2.3	37.2	41.9	11.6	0.0	7.0	27.9	0.0	14.0	53.5	14.0	0.0	18.6	0.0
サービス業	1.5	26.2	45.5	17.3	3.5	5.9	6.9	1.0	18.8	47.0	13.4	3.0	16.8	3.4
中小企業	1.7	23.2	42.5	22.3	5.0	5.3	▲ 2.4	1.4	19.2	41.3	17.8	2.9	17.3	▲ 0.1
大企業	3.0	30.3	33.3	27.3	3.0	3.0	3.0	6.1	18.2	45.5	15.2	3.0	12.1	6.1



## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《緩やかな改善傾向にある》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種では「増えた」と回答した企業は23.1%（前期比▲0.5ポイント）、「減った」と回答した企業は22.7%（前期比▲2.3ポイント）、「横ばい」と回答した企業は51.8%（前期比+2.7ポイント）となっており、DI値は+0.4（前期DI値▲1.4）と、前期比+1.8ポイントの改善となった。

業種別にみると、運輸・倉庫業（前期+4.6→今期+16.2）、卸売業（▲14.8→▲3.7）、製造業（▲12.8→▲2.5）、サービス業（+4.2→+8.3）は改善した。一方、小売業（▲8.5→▲21.9）、建設業（+8.7→±0.0）で悪化となった。

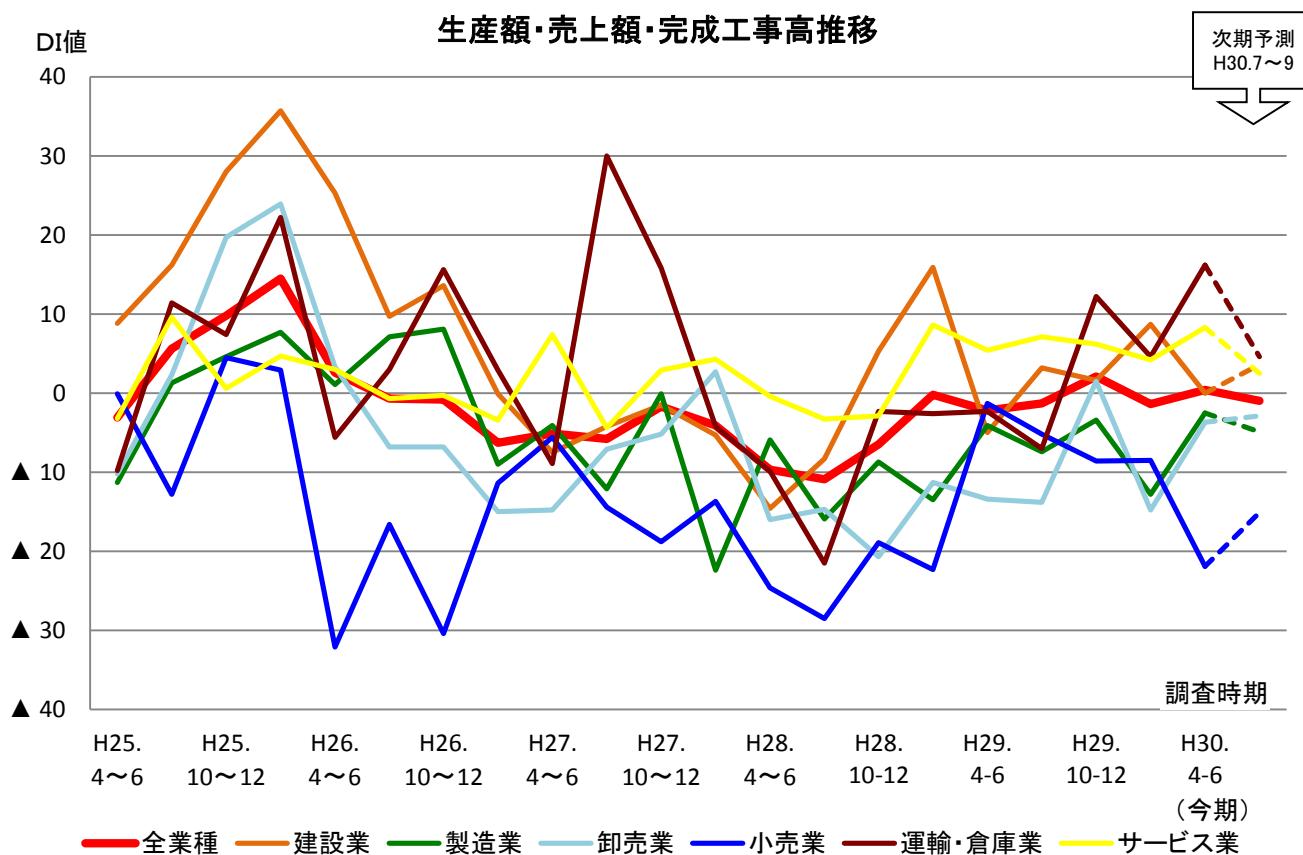
規模別にみると、中小企業・大企業とも改善し、特に大企業は+18.1（前期比+24.8ポイント）と大幅な改善となった。（中小企業DI値▲0.7（前期比+0.5ポイント））

次四半期（平成30年7月～9月）予測については▲1.0となっており、悪化の見通しとなる。

《生産額、売上額、完成工事高(前年同期と比較して)》

（単位 %）

	今四半期(30年4～6月期)実績							次四半期(30年7～9月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全 業 種	3.6	19.8	51.8	17.7	5.0	2.4	0.4	2.3	15.6	50.6	15.7	3.2	12.5	▲ 1.0
建 設 業	0.9	17.0	64.3	14.3	3.6	0.0	0.0	1.8	15.2	56.3	12.5	0.9	13.4	3.6
製 造 業	3.7	22.2	44.4	22.2	6.2	1.2	▲ 2.5	2.5	17.3	44.4	19.8	4.9	11.1	▲ 4.9
卸 売 業	4.8	18.1	48.6	17.1	9.5	1.9	▲ 3.7	1.9	20.0	43.8	20.0	4.8	9.5	▲ 2.9
小 売 業	1.4	16.4	41.1	34.2	5.5	1.4	▲ 21.9	2.7	15.1	38.4	27.4	5.5	11.0	▲ 15.1
運輸・倉庫業	2.3	27.9	53.5	14.0	0.0	2.3	16.2	0.0	11.6	62.8	7.0	0.0	18.6	4.6
サービス業	5.4	19.8	53.0	12.9	4.0	5.0	8.3	3.0	13.9	55.4	11.4	3.0	13.4	2.5
中 小 企 業	3.6	18.7	52.1	17.7	5.3	2.6	▲ 0.7	2.2	14.8	50.9	16.0	3.4	12.7	▲ 2.4
大 企 業	3.0	33.3	45.5	18.2	0.0	0.0	18.1	3.0	30.3	45.5	12.1	0.0	9.1	21.2



### 3. 原材料、製(商)品仕入価格

《足元ではほぼ横ばい。次期は下落する見通し》

原材料、製(商)品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は34.4%（前期比▲1.2ポイント）、「下落」と回答した企業は1.5%（前期比▲0.7ポイント）、「横ばい」と回答した企業は50.8%（前期比+0.4ポイント）となっており、DI値は+32.9（前期+33.4）と前期比▲0.5ポイントと、ほぼ横ばいとなった。

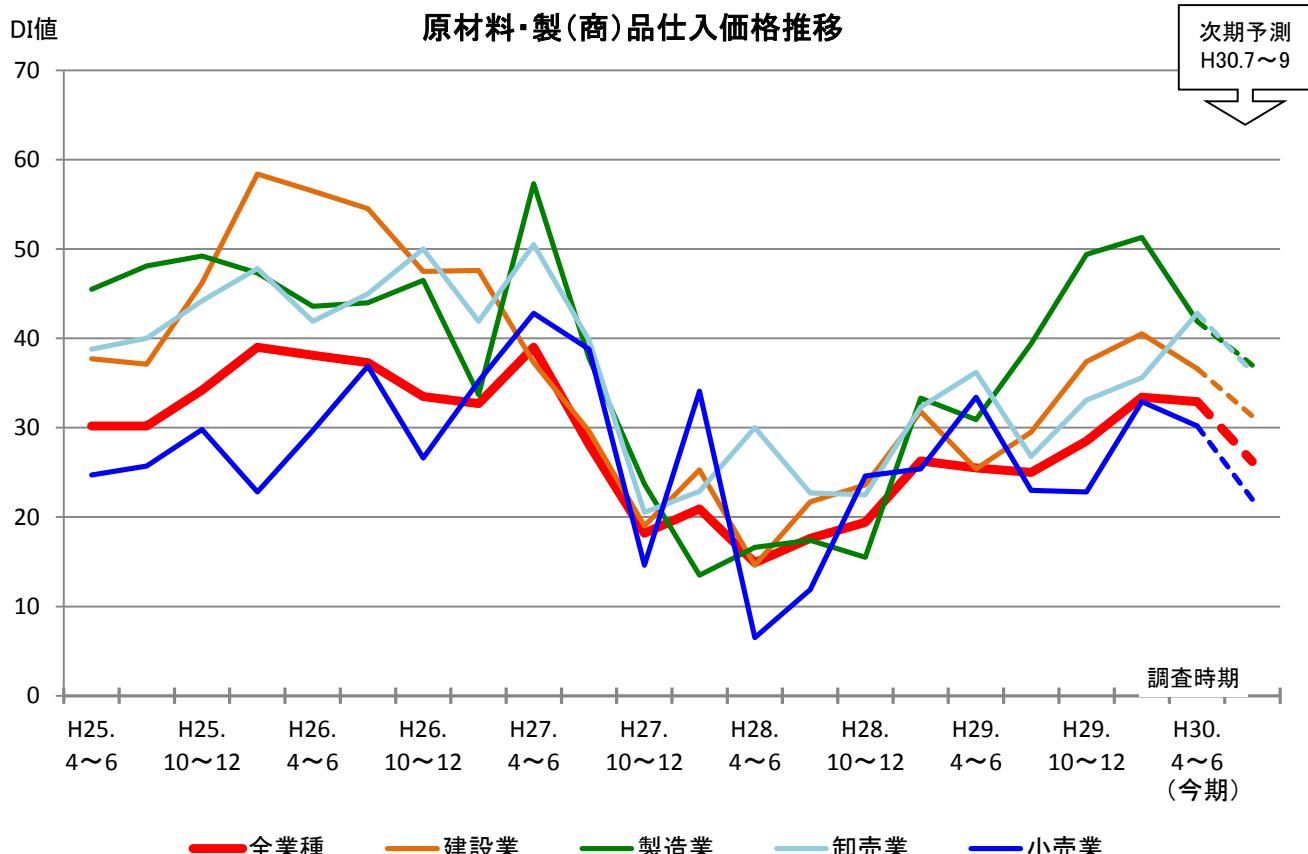
業種別にみると、卸売業（前期+35.6→今期+42.8）、運輸・倉庫業（+38.6→+44.2）、サービス業（+20.2→+20.8）で上昇となったが、製造業（+51.3→+41.9）、建設業（+40.5→+36.6）、小売業（+32.9→+30.2）では下落となった。

規模別にみると、大企業（前期+20.0→今期+15.2）では下落、中小企業（+34.0→+33.9）ではほぼ横ばいとなった。

次四半期（平成30年7月～9月）予測については、+26.2となっており、今期比で▲6.7ポイントで、下落の見通しどとなる。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(30年4～6月期)実績					次四半期(30年7～9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	34.4	50.8	1.5	13.3	32.9	27.3	46.9	1.1	24.7	26.2
建設業	37.5	58.9	0.9	2.7	36.6	31.3	53.6	0.0	15.2	31.3
製造業	44.4	50.6	2.5	2.5	41.9	37.0	51.9	0.0	11.1	37.0
卸売業	43.8	51.4	1.0	3.8	42.8	38.1	43.8	1.9	16.2	36.2
小売業	32.9	60.3	2.7	4.1	30.2	24.7	57.5	2.7	15.1	22.0
運輸・倉庫業	44.2	14.0	0.0	41.9	44.2	27.9	16.3	0.0	55.8	27.9
サービス業	22.3	50.5	1.5	25.7	20.8	16.3	45.5	1.5	36.6	14.8
中小企業	35.3	50.1	1.4	13.2	33.9	28.1	46.1	1.0	24.7	27.1
大企業	18.2	63.6	3.0	15.2	15.2	12.1	60.6	3.0	24.2	9.1



## 4. 受注価格、販売価格 《緩やかな上昇傾向》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は13.3%（前期比+1.7ポイント）、「下落」と回答した企業は9.7%（前期比▲2.1ポイント）、「横ばい」と回答した企業は71.8%（前期比±0.0ポイント）となつており、DI値は+3.6（前期DI値▲0.2）と前期比+3.8ポイントとなつた。

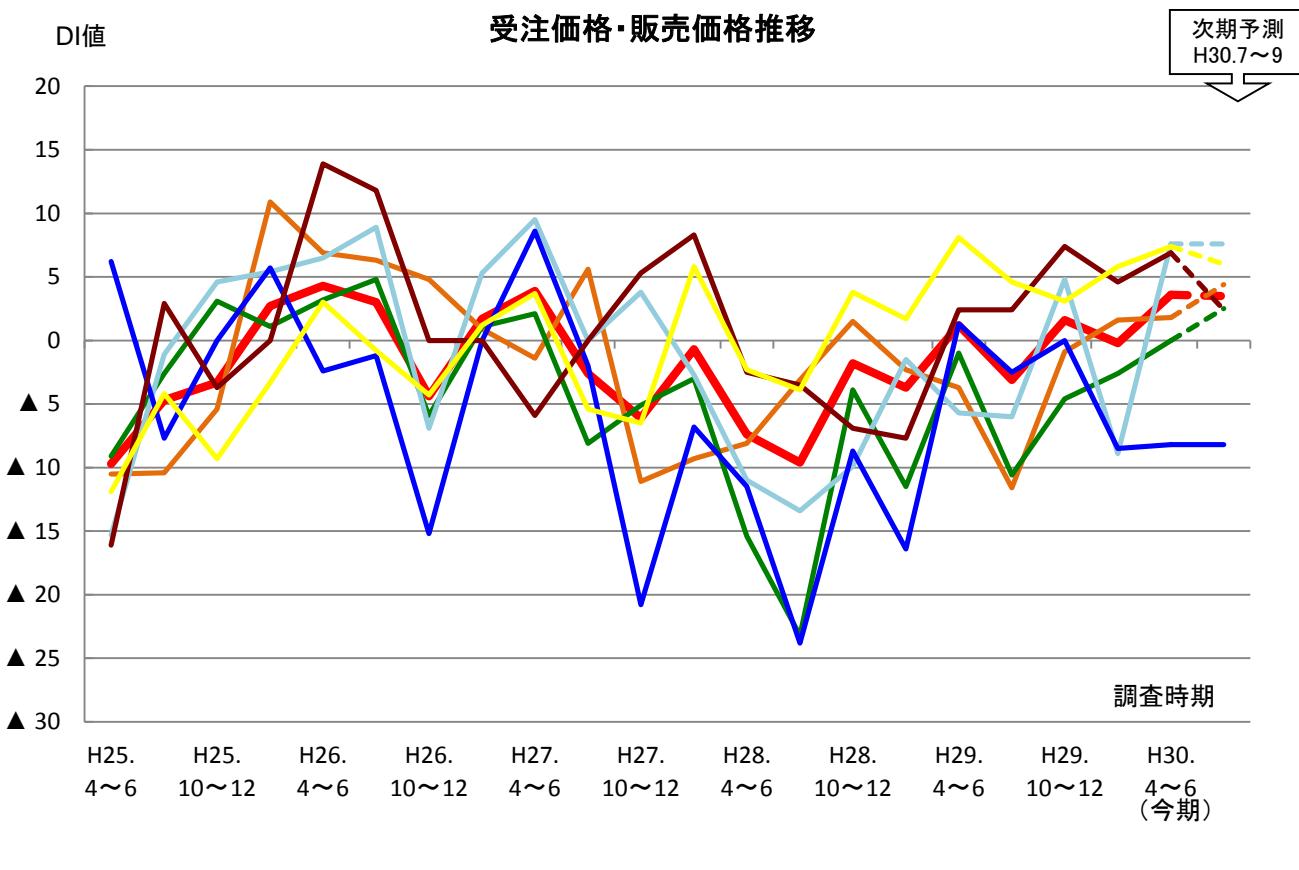
業種別にみると、卸売業（前期▲8.9→今期+7.6）、製造業（▲2.6→±0.0）、運輸・倉庫業（+4.6→+6.9）、サービス業（+5.8→+7.4）、小売業（▲8.5→▲8.2）、建設業（+1.6→+1.8）と全ての業種で上昇となつた。

規模別にみると、中小企業（前期▲0.3→今期+3.4）、大企業（+3.4→+6.1）とともに上昇となつた。

次期（平成30年7月～9月）予測については、+3.5となっており、今期比で▲0.1ポイントと横ばいの見通しとなる。

《受注価格、販売価格(前年同月と比較して)》 (単位 %)

	今四半期(30年4～6月期)実績					次四半期(30年7～9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	13.3	71.8	9.7	5.2	3.6	11.0	65.1	7.5	16.4	3.5
建設業	10.7	77.7	8.9	2.7	1.8	8.9	71.4	4.5	15.2	4.4
製造業	9.9	80.2	9.9	0.0	0.0	9.9	72.8	7.4	9.9	2.5
卸売業	18.1	68.6	10.5	2.9	7.6	16.2	61.9	8.6	13.3	7.6
小売業	9.6	68.5	17.8	4.1	▲8.2	9.6	58.9	17.8	13.7	▲8.2
運輸・倉庫業	11.6	65.1	4.7	18.6	6.9	4.7	55.8	2.3	37.2	2.4
サービス業	15.3	69.3	7.9	7.4	7.4	11.9	64.4	5.9	17.8	6.0
中小企業	13.2	71.7	9.8	5.3	3.4	11.3	64.7	7.4	16.6	3.9
大企業	15.2	72.7	9.1	3.0	6.1	6.1	72.7	9.1	12.1	▲3.0



## 5. 製(商)品在庫

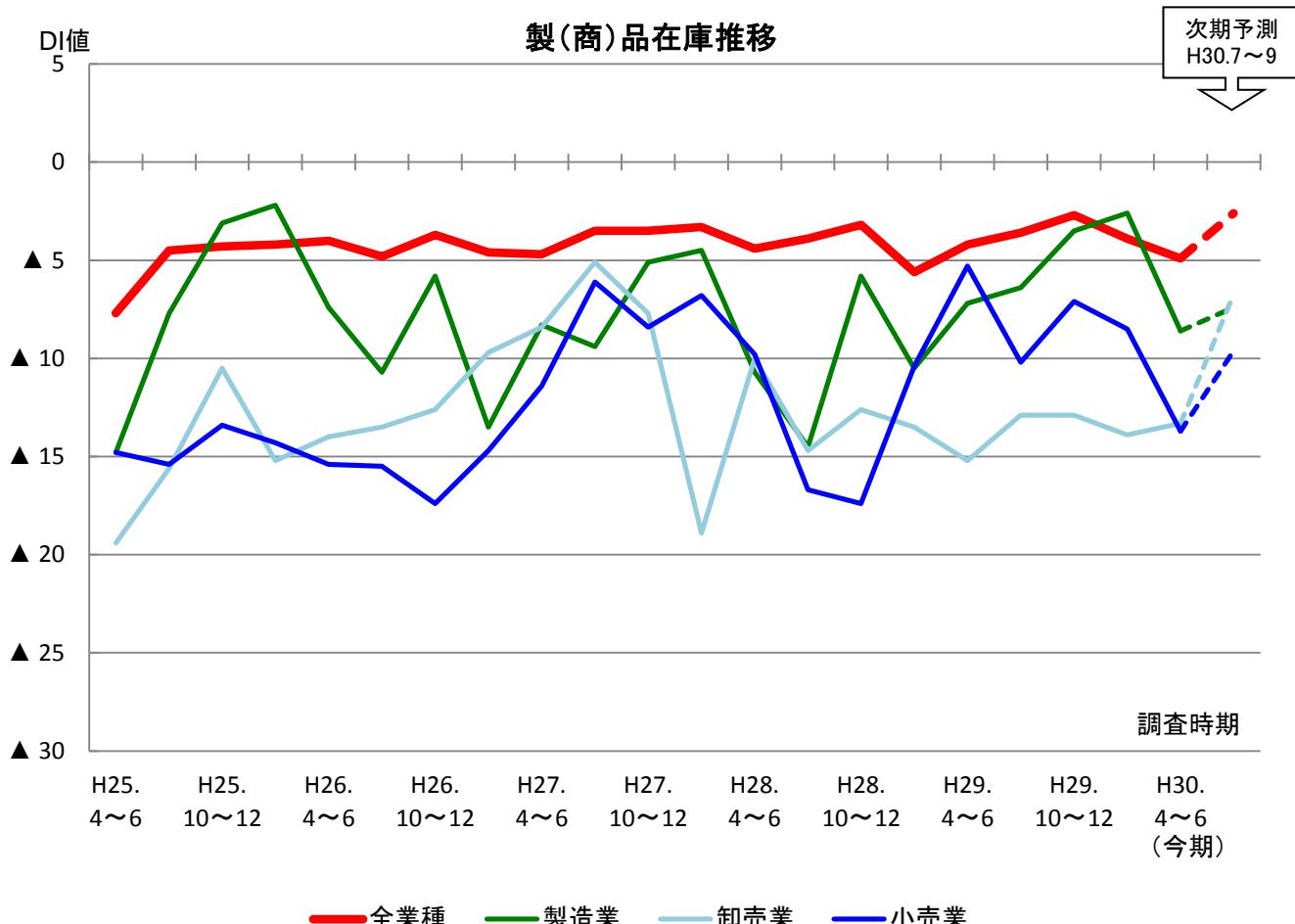
《今期は悪化したが、次期は適正方向へ》

製(商)品在庫については、「適正」と回答した企業は68.8%（前期比+5.3ポイント）、「不足」と回答した企業は1.6%（前期比▲1.4ポイント）、「過剰」と回答した企業は6.5%（前期比▲0.4ポイント）となっており、DI値は▲4.9（前期DI値▲3.9）となった。

次四半期（平成30年7月～9月）予測については、▲2.6（今期比+2.3ポイント）の見通しとなる。

《 製(商)品在庫(貴社の適正水準と比較して) 》 ( 単位 % )

	今四半期(30年4～6月期)実績					次四半期(30年7～9月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	1.6	68.8	6.5	23.1	▲4.9	2.1	61.5	4.7	31.7	▲2.6
建設業	0.9	60.7	1.8	36.6	▲0.9	1.8	52.7	1.8	43.8	0.0
製造業	2.5	84.0	11.1	2.5	▲8.6	2.5	76.5	9.9	11.1	▲7.4
卸売業	1.0	79.0	14.3	5.7	▲13.3	1.9	74.3	8.6	15.2	▲6.7
小売業	0.0	83.6	13.7	2.7	▲13.7	1.4	75.3	11.0	12.3	▲9.6
運輸・倉庫業	0.0	46.5	2.3	51.2	▲2.3	0.0	34.9	0.0	65.1	0.0
サービス業	3.0	61.4	1.5	34.2	1.5	3.0	54.5	1.0	41.6	2.0
中小企業	1.7	67.9	6.9	23.5	▲5.2	2.1	60.9	5.0	32.1	▲2.9
大企業	0.0	84.8	0.0	15.2	0.0	3.0	72.7	0.0	24.2	3.0



## 6. 営業利益

《横ばいが続く》

営業利益については、「増加」と回答した企業は18.2%（前期比▲0.5ポイント）、「減少」と回答した企業は31.5%（前期比▲0.6ポイント）、「横ばい」と回答した企業は49.7%（前期比+1.4ポイント）となっており、DI値は▲13.3（前期DI値▲13.4）で前期比+0.1ポイントとなった。

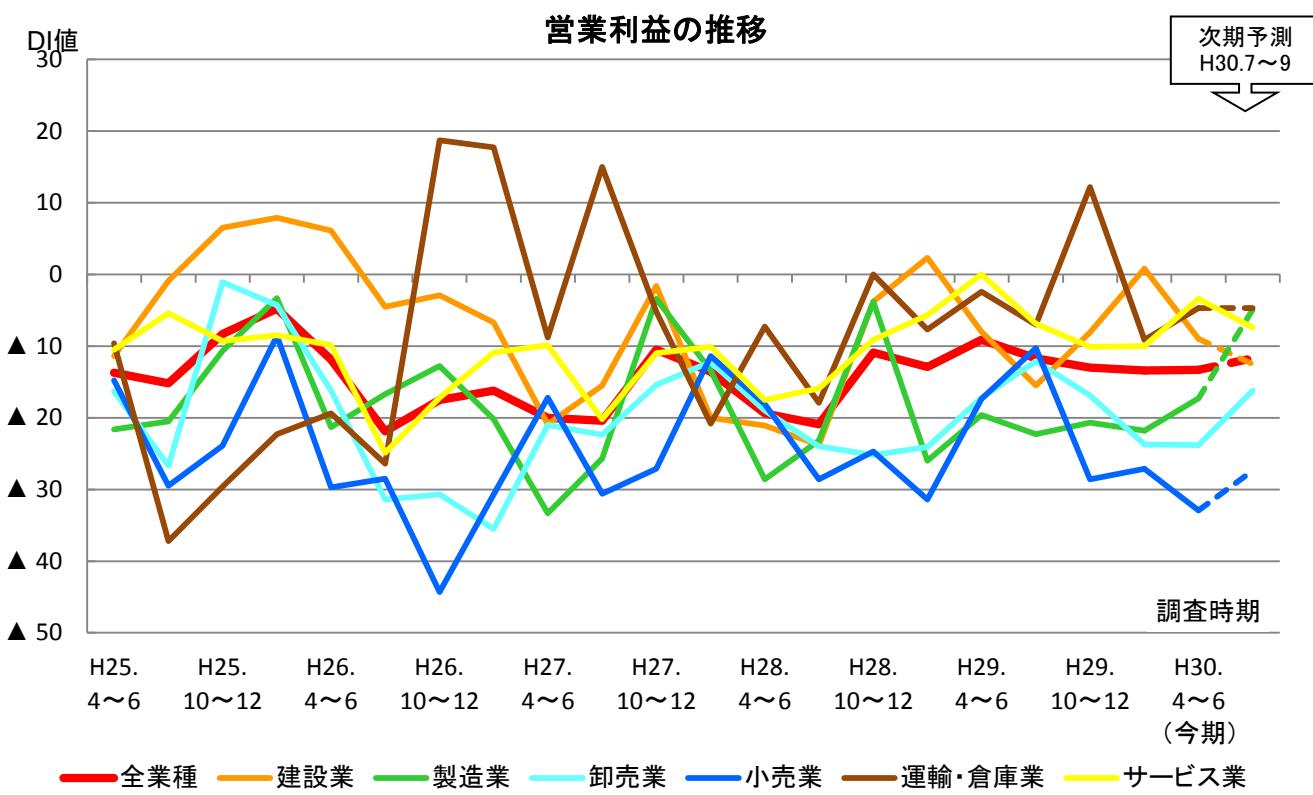
業種別にみると、サービス業（前期▲10.0→今期▲3.4）、製造業（▲21.8→▲17.3）、運輸・倉庫業（▲9.1→▲4.7）では改善、卸売業（▲23.7→▲23.8）ではほぼ横ばいとなった。一方、建設業（+0.8→▲9.0）、小売業（▲27.1→▲32.9）では悪化となった。

規模別にみると、大企業では+21.2（前期比+44.5ポイント）と大幅に改善したが、中小企業では▲15.2（前期比▲2.3ポイント）と悪化した。

次四半期（平成30年7月～9月）予測については、▲11.7となっており、今期比で+1.6ポイントで、緩やかに改善する見通しどなる。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(30年4～6月期)実績					次四半期(30年7～9月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全 業 種	18.2	49.7	31.5	0.6	▲ 13.3	12.3	50.5	24.0	13.1	▲ 11.7
建 設 業	19.6	50.9	28.6	0.9	▲ 9.0	8.9	56.3	21.4	13.4	▲ 12.5
製 造 業	17.3	48.1	34.6	0.0	▲ 17.3	17.3	49.4	22.2	11.1	▲ 4.9
卸 売 業	12.4	50.5	36.2	1.0	▲ 23.8	11.4	49.5	27.6	11.4	▲ 16.2
小 売 業	13.7	39.7	46.6	0.0	▲ 32.9	11.0	41.1	38.4	9.6	▲ 27.4
運輸・倉庫業	18.6	55.8	23.3	2.3	▲ 4.7	11.6	51.2	16.3	20.9	▲ 4.7
サ ー ビ ス 業	22.3	51.5	25.7	0.5	▲ 3.4	13.4	51.5	20.8	14.4	▲ 7.4
中 小 企 業	17.0	50.1	32.2	0.7	▲ 15.2	11.0	51.3	24.4	13.4	▲ 13.4
大 企 業	39.4	42.4	18.2	0.0	21.2	36.4	36.4	18.2	9.1	18.2



## 7. 資金繰り

《足元ではほぼ横ばい。次期は緩やかな悪化の傾向》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は12.0%（前期比+1.2ポイント）、「苦しい」と回答した企業は14.1%（前期比+0.4ポイント）、「不变」と回答した企業は72.7%（前期比▲1.5ポイント）となっており、DI値は▲2.1（前期DI値▲2.9）と前期比+0.8ポイントと、ほぼ横ばいとなった。

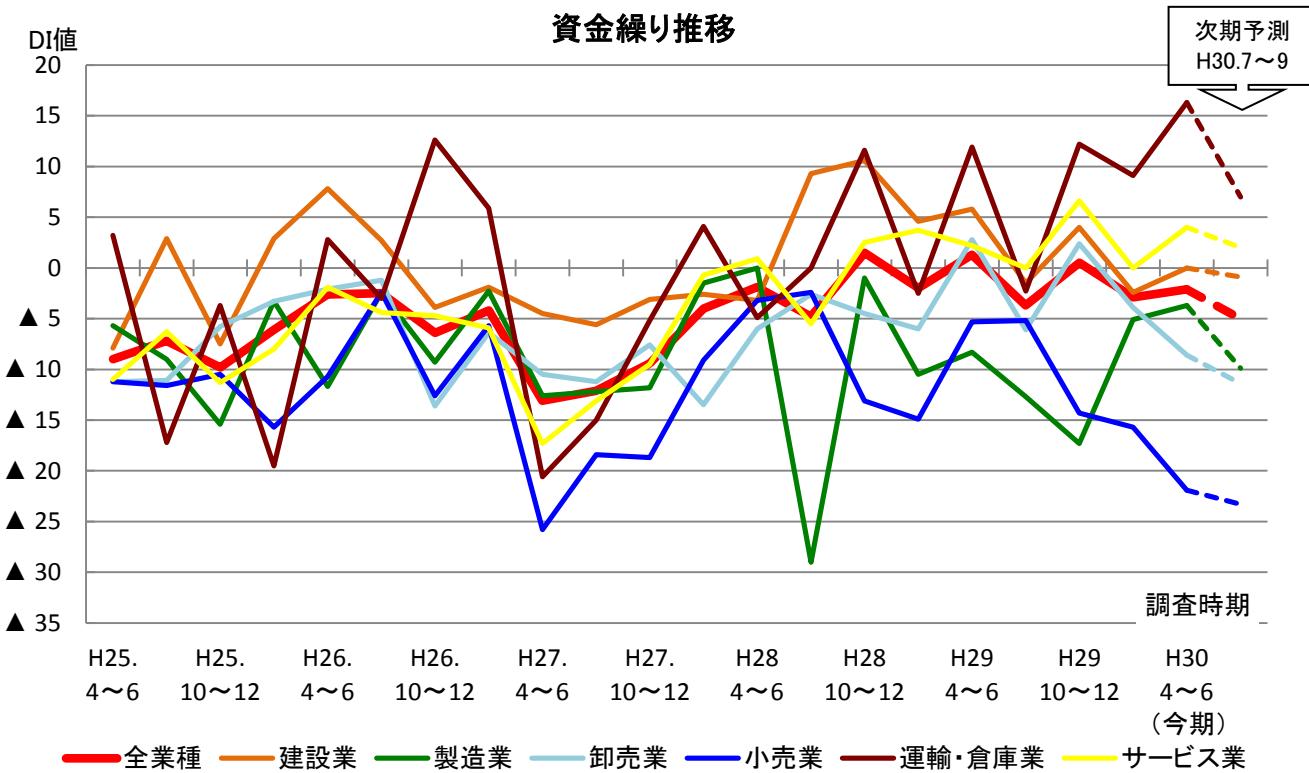
業種別にみると、小売業（前期▲15.7→今期▲21.9）、卸売業（▲3.9→▲8.6）は悪化した。一方、運輸・倉庫業（+9.1→+16.3）、サービス業（±0.0→+4.0）、建設業（▲2.4→±0.0）、製造業（▲5.1→▲3.7）は改善した。

規模別にみると、大企業（前期+3.3→今期+12.1）は改善、中小企業（▲3.2→▲2.9）はほぼ横ばいとなつた。

次四半期（平成30年7月～9月）予測については、▲5.0となっており、今期比で▲2.9ポイントと、悪化の傾向となる。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》 ( 単位 % )

	今四半期(30年4～6月期)実績					次四半期(30年7～9月期)予測				
	楽である	不变	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不变	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	12.0	72.7	14.1	1.1	▲2.1	8.1	66.1	13.1	12.7	▲5.0
建設業	12.5	74.1	12.5	0.9	0.0	8.0	70.5	8.9	12.5	▲0.9
製造業	12.3	71.6	16.0	0.0	▲3.7	7.4	64.2	17.3	11.1	▲9.9
卸売業	9.5	70.5	18.1	1.9	▲8.6	5.7	65.7	17.1	11.4	▲11.4
小売業	4.1	68.5	26.0	1.4	▲21.9	1.4	64.4	24.7	9.6	▲23.3
運輸・倉庫業	18.6	76.7	2.3	2.3	16.3	9.3	67.4	2.3	20.9	7.0
サービス業	14.4	74.3	10.4	1.0	4.0	11.9	64.9	9.9	13.4	2.0
中小企業	12.0	72.0	14.9	1.0	▲2.9	8.1	65.2	13.9	12.9	▲5.8
大企業	12.1	84.8	0.0	3.0	12.1	9.1	81.8	0.0	9.1	9.1



## 8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「人材難、求人難、定着化の悪化」52.8%（前期比▲3.8ポイント）であり、次いで「受注、需要の増加又は減少」30.8%（前期比+1.0ポイント）、「経費の増加」26.3%（前期比+1.6ポイント）、「営業利益の低下」24.5%（前期比▲3.7ポイント）、「原材料高、入手難」16.6%（前期比+2.7ポイント）となった。

業種別でみると、「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多い割合とする業種が多く、建設業67.0%、サービス業62.9%、運輸・倉庫業53.5%、小売業43.8%となっている。また「受注、需要の増加又は減少」が最も多かった業種は建設業39.3%であった。

規模別でみると、中小企業、大企業ともに「人材難、求人難、定着化の悪化」が最も多く、中小企業51.8%、大企業69.7%であった。

《当面の経営上の問題点(複数回答可)》 (単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	条件天候などの自然	加受又は減少需要の増	出店同業大者型、店類似進	官公需要の停滞	輸出の不振	少元(直)請の減	低操業率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷下、げ納要品請価格	過剰在庫	嫁販難、売価格への転	増難販、売代良金債の権回の収	化売手期形間化の長期
全業種	14.9	(30.8)	12.5	6.0	0.6	2.9	4.1	(16.6)	4.4	2.3	13.5	1.6	2.4
建設業	19.6	(39.3)	3.6	15.2	0.0	8.0	6.3	16.1	3.6	0.0	7.1	0.0	1.8
製造業	9.9	38.3	6.2	2.5	1.2	1.2	7.4	24.7	9.9	4.9	24.7	0.0	2.5
卸売業	22.9	38.1	14.3	1.9	1.9	1.9	2.9	27.6	6.7	5.7	22.9	4.8	3.8
小売業	20.5	28.8	27.4	6.8	0.0	1.4	0.0	8.2	4.1	5.5	15.1	2.7	1.4
運輸・倉庫業	16.3	9.3	4.7	0.0	2.3	2.3	9.3	18.6	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0
サービス業	7.9	24.8	15.3	5.4	0.0	2.0	2.5	10.4	2.5	0.0	8.9	1.5	3.0
中小企業	14.2	31.2	11.7	6.3	0.7	3.1	4.1	16.8	4.5	2.4	13.6	1.7	2.6
大企業	27.3	24.2	27.3	0.0	0.0	0.0	3.0	12.1	3.0	0.0	12.1	0.0	0.0

2位

5位

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不陥足、舗駐、車工場用の地狭	代剩店化、舗の老、遅朽設備化、過近	上家が貴り、地代の値	化難人、材定難着、化求の悪	費人増手過剰、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担の増加	難情報不足、人手	その他	無回答
全業種	(26.3)	(24.5)	2.1	5.5	2.4	(52.8)	8.4	4.9	4.1	2.8	3.7	3.6	7.0
建設業	26.8	22.3	1.8	1.8	2.7	(67.0)	8.0	1.8	3.6	2.7	6.3	3.6	5.4
製造業	27.2	18.5	7.4	11.1	0.0	37.0	7.4	4.9	2.5	0.0	3.7	1.2	8.6
卸売業	23.8	31.4	1.0	1.9	0.0	36.2	6.7	2.9	3.8	5.7	1.9	3.8	4.8
小売業	24.7	38.4	0.0	12.3	4.1	(43.8)	8.2	2.7	4.1	2.7	1.4	6.8	6.8
運輸・倉庫業	41.9	25.6	2.3	4.7	2.3	(53.5)	4.7	11.6	2.3	2.3	0.0	7.0	11.6
サービス業	24.3	19.3	1.5	5.0	4.0	(62.9)	10.9	6.9	5.4	2.5	5.0	2.5	7.4
中小企業	26.4	24.5	2.2	5.1	2.6	(51.8)	8.6	4.3	4.3	2.7	3.9	3.8	6.7
大企業	24.2	24.2	0.0	12.1	0.0	(69.7)	6.1	15.2	0.0	3.0	0.0	0.0	12.1

3位 4位

1位

## 自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

